

学校と地域の連携・協働を見つめて⑤

「組織立ち上げから1年間の組織の歩み・取組の効果に注目！」

真庭市立北房小学校
(平成30年度取組のまとめ)

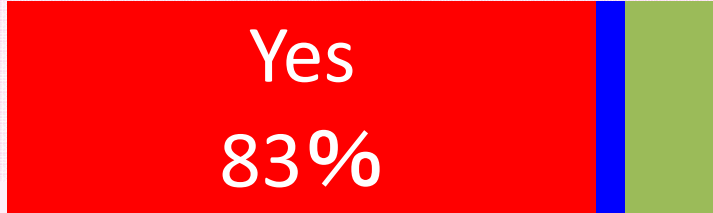
真庭市立北房小学校【平成30年度新設】では、「見守りボランティア組織」立ち上げをはじめとし、1年を通して学校と地域の「連携・協働」を常に意識し、教育活動を展開してきました。年度末には、児童と地域ボランティアとの「対面式」を行い、児童が感謝の気持ちを伝えるとともに、取組の成果を共有しました。学校と地域が共に歩み始めた1年間の取組を振り返ります。



4月 「通学の見守りボランティア」

児童に
聞きました！

「地域の方のアドバイスで、学習の仕方がよく分かった」



7月 「学校と地域の窓口による情報交換」

見守り隊の方々へ
いつも、私達の登下校を見守ってくださり、ありがとうございます。私は、毎朝、笑顔であいさつして下さるみなさんを見て、とても元気になります。これからもよろしくお願いします。



2月 感謝の気持ちを伝える児童(対面式)

学習ボランティアの方々へ
いつも多くてたいんなれつしや、授業に来てくださってありがとうございます。ございします。おかげで私は毎日楽しく勉強ができています。本当にありがとうございます。これからもお体に気をつけてください。



12月 「クリーン活動」



10月 「家庭科での裁縫指導」

『組織的な取組のサイクル確立』

連携・協働
のポイント

・「学校のニーズ」の具体的な共有を定期的・継続的に行うことで、児童も実感する有効な教育活動実現！
・1年間のサイクル確立で、次年度に向けたPDCAが動き始める！